



松ヶ枝中学校

《教育目標》根気・勇氣・元気

～令和5年度の重点～

人を大事にする温かい学校づくり
‘チーム MATSUNAKA,
自律的に行動できる人を目指して

松中HP



ときわ 常磐

<https://www.otaru.ed.jp/matsugae/>

学校だより 第8号 発行日 令和5年11月30日



先月の学校だよりで「季節の変わり目は昼夜の寒暖差が大きい」と言いましたが、11月は雪が降ったり、9月並みの高い気温を記録したりするなど、昼夜ではなく日々の寒暖差が大きいひと月でした。

11月23日（勤労感謝の日）は最高気温が18℃を超え、私の数少ない趣味である近所のランニングをしていると、雪虫（？）の大群に何度も遭遇し、目の中に入ってきた子も一匹…。雪虫（？）も11月の寒暖差の激しさに調子を狂わせているようです。

『ふるさとは 遠きにありて思うもの』

校長 齋藤 直幸

20年前、北海道で暮らすことを決めて千葉から移り住んできました。その後の数年は北海道の文化になじめず、というよりはふるさと千葉の文化がしみついていて、北海道の学校にも生活にも雪国の生活にも違和感があり、いい

歳してホームシック（？）を感じることも度々ありました。

そんな時期に「ふるさとは遠きにありて思うもの」という文が頭に浮かび、

ふるさとを遠く離れて、
ふるさとを懐かしむ気持ち、わかるな～

などと勝手に解釈していましたが、この文は詩の一文で、全文から解釈すると全く違った意味があることが、後に分かりました。

それでも、ふるさとの気候や町並み、特に家族や仲間たちとの生活は、自分にとってかけがえのないものであると、遠くにありて思います。

ふるさと小樽を愛する方々

『株式会社K2 代表取締役 中山 仁史 様』

2年生の「総合的な学習の時間 職業講話」で、Web ページやポスター制作などを手がけている「K2」の中山社長に講話をしていただきました。

小樽出身の中山さんは、

「小樽を離れて生活して小樽に戻ったとき、自分が知っている賑やかだった小樽駅前の梁川通りが淋しい通りになっているのを見て、自分の能力を生かして小樽を元気にしたいと思った」

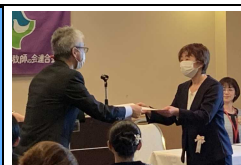
と、梁川通りで起業しました。（現在は新富町）札幌などの大都市で会社を経営した方が収益は大きいですが、小樽が大好きなので、あえて小樽で会社を経営しているそうです。校長室でお話を伺っていると、ふるさと小樽への熱い想いが伝わってきました。

『札幌学院大学 まちおこし研究会』

国際スポーツ雪かき選手権、ジュニアインストラクター、松ヶ枝ベース出店など、小樽市外に住む学生がほとんどですが、小樽のまちおこしに全力を尽くす研究会。夏休みには本校の学習会にもサポーターとして参加してくれるなど、中学生がまちおこしに大きな可能性を持っているとして、様々な働きかけをしてくれています。彼らのいくつかの活動に参加させていただいて感じたのは、自分が部活動で野球に全力を傾けてきたように、まちおこし研究に全力を傾ける学生達のまっすぐな姿勢でした。

12月4日（月）・18日（月）には、2年生と1年生に「小樽の除雪問題」について彼らに特別授業をしてもらいます。10:50～12:40に体育館で実施しますので、お時間があればお越しください。

市P連
教育功労者
授賞式



藤崎 さやか 様
14年間、山の手小・松ヶ枝中 PTA でご尽力くださいました。

2学期も残すところあと1か月…

長かった(?) 2学期もあと1か月ほどで終わり、冬休みを迎えます。12月は2学期のまとめ・振り返りの時期であると同時に冬休みや3学期に向けての準備をする時期でもあります。この2学期の学習や生活等、様々な面を振り返り、冬休みや3学期の学習、生活につなげていきましょう。

また、インフルエンザやコロナウイルス感染症、風邪等が流行っています。健康管理にも十分留意し、残り1か月を健康に過ごし、有意義な日々を送ってほしいと願います。

3年生は今…三者面談で進路を…

3年生は、11月24日(金)から12月1日(金)までの6日間で三者面談を行っています。中学校卒業後の進路を決める大切な面談です。自分のやりたいことややりたい自分、将来を見据え、進路を決定しているところです。三者面談をすでに終えた生徒も、これからの生徒も、自分の意志で決めた進路の実現に向けて、努力を続けてほしいと思います。2年生は1年後、1年生は2年後、その時を迎えます。今からしっかりと自分の将来を見据え、毎日を過ごしてください。

Do your best!! Believe in yourself!!

SCによる自殺予防講話実施

11月20日(月)に自殺の深刻な実態を知り、自殺予防の正しい知識を身につけることをねらいとして、スクールカウンセラーによる自殺予防講話を行いました。当初は、体育館で全校一斉にと予定していましたが、校内の風邪やインフルエンザの罹患状況を踏まえ、テレビ放送での実施となりました。現在の日本における自殺の状況や体や心からのSOSへの気づき方、ストレスへの対処方法、SOSの出し方等、多岐にわたる内容でした。すでに行っている援助希求的態度の育成の学習とあわせて、自他ともかけがえのない命の大切さについて考えてほしいと願います。

ヤングケアラーハンドブックについて

ヤングケアラーと呼ばれる子どもたちが増加し、深刻な社会問題となってきています。北海道教育委員会では、ヤングケアラーの理解を深めるとともに相談窓口を紹介することなどを目的に、生徒向けの電子ハンドブックを作成しました。

下記URL または右記QRコードよりダウンロードして、閲覧し、子どもたちがヤングケアラーとまらない社会の構築に向け、力を合わせていけたらと思います。



【中高生版 URL】

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/171272.html>

北海道河川財団様より書籍の寄贈

「石狩川ものがたり」が寄贈されました。ありがとうございました。図書館にあります。ぜひ、読んでみてください。

文化の秋…各種コンクールで入賞者多数!!

各コンクールでの受賞者を紹介します。皆さん、おめでとうございます。

《全道読書感想文コンクール》

～学校賞～ 松ヶ枝中学校

～北海道議会議長賞～ 上田遥(全国コンクールへ出品)

～北海道青少年育成協会賞～ 岩松莉香

～優良賞～ 佐々木悠風

《小樽市読書感想文コンクール》

～入選～ 上田遥 佐々木悠風 長谷川遼 鈴木凜和

原永絆 岩松莉香

～入賞～ 清水楓太 山本博文 小林蒼真 谷川美月

平嶋美莉 武政光星

《小樽文学館学生短歌コンクール》

～入賞～ 上田遥 菊地啓吾

《人権作文コンテスト》

～小樽地区大会協議会長賞・札幌地方大会優秀賞(NHK札幌放送局賞)～ 押上愛

～小樽地区大会協議会長賞・札幌地方大会奨励賞～ 齊藤礼翔

～小樽地区大会支局長賞～ 西野結愛

《小樽こどもの詩コンクール》

～優良賞～ 岩松莉香 西野結愛

スポーツの秋…全国優勝

11月26日に開催された『文部科学大臣杯第17回JKJO全日本空手道選手権大会』47kg未満の部で奈須川漣さんが見事優勝を飾り、日本一となりました。おめでとうございます。



<12月の行事>

月日	曜	12月の主な行事(予定)
12/1	金	三者面談⑥(3年)・希望制個別懇談⑤(1・2年)
3	日	全道読書感想文コンクール表彰式
4	月	ALT来校週
5	火	全道人権作文コンテスト表彰式
7	木	職員会議
9	土	小樽市読書感想文コンクール表彰式
10	日	1日人権擁護委員
18	月	ALT来校週・SC来校日・SCによる研修
19	火	研修日
20	水	ときわ学級職員向け販売会
21	木	学校運営協議会②
25	月	終業式・防災教室・ALT来校日
26	火	冬季休業開始(～1/14日)・冬季学習会①
27	水	冬季学習会②
29	金	学校閉庁日(～1/3水)
31	日	大晦日

風邪等、感染症にご注意を!!